

科名 外科
 対象疾患名 切除不能な進行・再発の胃癌
 プロトコール名 オプジーボ(胃癌)(2週毎)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	14
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	オプジーボ	240mg	30分かけて	↓						
			生食	100mL	専用ルート JY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ							

★1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が起こる恐れがあるので併用には注意すること。